

防災ソングの作成及び普及活動について

香川大学から防災ソングを発信し、香川県民の防災意識を高めます。子どもからお年寄り、目の不自由な方にもわかりやすく、災害時に大切なことを楽しく学べる内容です。曲名は「そなえたらこわくない」。作詞は、香川大学特任教授 金田 義行(地震学)。作曲は、同大学職員 Milly Rise。演奏グループは、香川大学職員・防災キッズらで構成される「ソナエルズ」。



スマトラ大津波地震

2004年スマトラ大津波地震は20万人を超える犠牲がでた激甚災害であった。しかし、シメウル島は震源域に近く大津波が襲来したにもかかわらず、幸いにも多くの犠牲が発生しなかった。



学んだ教訓

その最大の理由として、この島では先住民からの伝承として、「地震で揺れたら山に登れ」と言う防災の歌(Smong)を子どもの頃から歌っていたことである。

※「Smong (スモン)」は、インドネシア・スマトラ島北部のアチェ地方に伝わる津波に関する民間伝承や知識を指し「津波」を意味します。



防災ソングの制作・普及

この教訓を踏まえ、香川県においても「わらべ歌」のように子どもの頃から慣れ親しめる「防災ソング」があれば、平時の生活の中で、県民の防災意識向上が期待できる。



防災意識の向上

ここでは子どもからお年寄りまで気軽に歌え、自然と県民の防災意識向上に繋がることを目的として、香川県版防災ソング「そなえたらこわくない」を制作し、普及広報を図る。